

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		9月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況	
						期間 (ピーク)	出荷総数		上旬	中旬			下旬
							千本	千本					
バラ	茨城	施設	アマダ アバランチ サムライ ほか	周年	1.5 100%	320 100%		20	40	40	古河市 石岡市 茨城町	・生育は平年並み。 ・気温が高いため病害は特になし。	
	静岡	施設	サムライ オール4ラブ シンディ ベイブ	周年 (4~6月)	1.3 96%	630 97%	450 97%	30	30	40	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA静岡市	曇雨天が続いており、9月上旬にかけて減少傾向が続く見込み。中旬以降は、土耕の方も始めるため増える見込みだが、今後の天候次第で遅れも見られる見込み。	
アルストロメリア	北海道	周年	アイスクリーム アバランジェ アーロン レモネード	周年 (5・10月)	695 96%	4,247 93%		33	33	33	岩見沢市 JAいわみざわ	7月から8月にかけての高温により抽苔がとまり出荷本数が減。	
	青森	周年	オルガ アルーラ ピンクサプライズ	周年 (5~8月)	1.92 100%	1,083 109%	789 109%	50	30	20	藤崎町	7月の高温続きにより生育は前進傾向で、7月下旬にピークを迎えた。出荷も前倒しで推移しており、9月の出荷量は昨年に比べて減少する見込み。	
トルコギキョウ	北海道	促成~	ハピネスホワイト	8~11月	2,080 99%	3,201 108%		36	33	31	由仁町 JAそらち南	高気温が続いていて、作付計画よりも前進して出荷している。 また、品質も高温によって、花卉の色落ちや茎が細くなるもの、茎丈が伸びにくい影響がみられる。	
			モンロー	8~11月			38	29	33				
			モアナLP	7~10月			44	47	9				
			マキアLP	7~8月			0	0	0				
青森	施設	ホクトセイ ボヤージュ ロジーナ	6月~11月 (9月)	4.73 99%	869 114%	558 114%	40	30	30	つがる市 田舎館村 八戸市	【津軽地区】盆用は需要期に概ね出荷でき、その後は一気に減少しているが予定どおり。8月末~9月上旬に彼岸向けの出荷が増加予定だが、8月上旬まで前進傾向だったものの、中下旬の曇天により、最終的に例年並みの出荷となる見込み。 【県南地区】盆向けについては、ほぼ需要期に出荷できた。彼岸向けは8月下旬から徐々に増え始めるが、生育が前進傾向のため、需要期より前の出荷となることも予想される。		
茨城	施設	ボヤージュシリーズ ロジーナハンダー レイナホワイト ほか	周年 (6~7月)	1 100%	10 100%		40	30	30	水戸市	・生育は平年並み。 ・病害虫の影響は特になし。		
熊本	施設	ミヨシ系 サカタ系 八江系など	周年	夏秋 14.18ha 冬春 未 104%	316 104%	11 104%	10	56	34	熊本市 菊池 やつしろ くま など	定植は早い方で7/18開始。多くは8月中旬より定植開始。出荷開始は概ね例年並みの10月頃もしくは生育が順調な地域もあり、やや前進の9月下旬頃から開始の地域もある。面積は微増。病害虫の被害は特になし。しかし、大雨の影響により一部生産者で定植の遅れが発生し、また今後として立ち枯れ病の発生が懸念される。		
りんどう	秋田		ながの極早生 しなの早生 あきたの青 しなの3号	6月-11月 7-9月	43.2 101%	8,270 85%		50	40	10	あきた白神 秋田しんせい 秋田おぼこ	昨年の大きい前進生育では無いが、盆物同様1週間程度前進傾向で出荷が進んでいる状況。今後の天候次第では、更に前進傾向か。概ね9月1週~2週出荷ピークか。	

花きの市場別販売概況(9月見通し)

令和3年8月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	高冷地、西南暖地とも高温により上位等級少なく、下位等級中心の荷姿。Sクラスは適正価格が付かない事もあり、出荷調整を行う産地もあった。上位等級だからといって、花にボリュームは無く、価格が付き難い状況(大田)。山形、群馬などより入荷。前半は安定した入荷も暑さで上位は高値相場、下位は保合相場となった(FAJ)。入荷は少ないが、引き合い弱く、弱保合い(世田谷)。7月梅雨明けとともに高温が続き、小売りが日持ちのしなくなった品種は避ける傾向になり販売は弱保合いの相場。入荷量は暑さで秀品率が低下し徐々に減少傾向となった(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	高冷地は夜温の低下と共に花にボリュームが出てくるが、西南暖地は9月後半から品質の向上が見込まれる。シルバーウィーク中心にブライダル、小売り需要は堅調な見通し。
		FAJ	山形、栃木、群馬などより入荷予定。暖地の出荷量によっては敬老の日需要は引き合いが強まる見込み。
		第一花き	
		世田谷花き	前半は静かな展開になりそう。敬老の日のギフト需要に期待。後半に入荷も増える。
		東日本板橋花き	7月の高温と8月の天候不順で上位等級は少なく、中下位等級の比率が多めの入荷見込み。販売は9月彼岸、敬老の日需要など引き合い強まる見込み。
アルストロメリア	現状	高温により、各産地出荷量は少ない状況。葬儀需要中心に問い合わせ多く、引き合い強い状況となった(大田)。長野、山形で曇天が続いたことで低温、低日照が影響し入荷量激減、前年同月対比6割程となった(FAJ)。例年より出荷少ない。強めて推移(世田谷)。愛知・青森中心の入荷。前年より若干少なめの出荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	各産地、新植が増えてくる。中旬以降、数量増加してくる見込み。気温が下がってくれば、専門店等の需要も増加してくる。引き続き、葬儀需要中心の取り引きとなる見込み。
		FAJ	引き続き長野、山形、岩手より入荷。数量は大きく増加はしないため堅調な引き合いが続くと予想される。
		第一花き	
		世田谷花き	下旬に向けてやや増える。
		東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。前年並みの出荷量の予定。
トルコギキョウ	現状	梅雨明けから一気に開花が進み、各産地そろって増加となった。8月頭は需要も落ち着いている中での数量増加で、低調となったが、8月盆需要期に入り、高値は出ないものの引き合いは活発化した(大田)。山形、福島、北海道、長野等より入荷。盆前は7月前進の不安あるも安定入荷で堅調相場となった(FAJ)。北海道・福島・山形などから入荷。上旬はピンク系中心に咲き急いでいたが、盆以降は気温低下により遅れだした。(世田谷)。天気良く、潤沢な入荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	各産地作付けが多い月となり、上旬から数量増加。彼岸に向けてさらに数量が纏まってくる。
		FAJ	山形、秋田、岩手、長野などより入荷を予定。前半は弱保合相場、中旬以降安定した販売となる見込み。
		第一花き	
		世田谷花き	北海道・福島・山形などは予定よりも開花が遅れてきている。
		東日本板橋花き	高冷地前進しているため、入荷は前年比減となりそう。
りんどう	現状	8月盆向けは秋田、岩手共に前進傾向で、2日販売がピーク。際は例年以上に少ない出荷量となったが、一部圃場では急な高温により採花できずに終えたところもあり、前年より少ない出回り量となった(大田)。岩手、秋田、山形より入荷。前進産地が多く例年の7割程の数量。盆直前は不足し高値をつけた(FAJ)。盆需要は例年通りで、なんとか納品できた。下旬に向けて一旦減る(世田谷)。	
	見通し	大田花き	彼岸向けも8月同様1週間以上前進傾向で推移しており、9月上旬に出荷が纏まる可能性あり。彼岸向けには前倒し納品等、調整しながらの納品となる予定。
		FAJ	岩手中心に山形、秋田、福島、長野より入荷。彼岸に数量増えるも8月同様不足が予想される。
		第一花き	
		世田谷花き	深山・笹リンドウが徐々に増える。彼岸注文は例年通り多そう。
		東日本板橋花き	